

## カスタムボディ科

区分	科目名	実施学年	実務経験者の授業	時間数
実習	実車応用Ⅲ	1年	○	112

教科担当	実務経験
山崎 博史	専業工場整備・板金勤務
熊谷 祐介	トヨタ系ディーラ整備勤務
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実務経験のある教員等による授業。</li> <li>・自動車整備士として実務経験がある教員がより実践的な教育を行う。</li> <li>・自動車整備士等の実務経験を活かし、自動車整備全般を職場での作業と同様な実践的内容を指導する。また、安全作業・環境整備についても同様に実践指導する。</li> </ul>	

科目の概要	フレーム修正、溶接、油圧ジャッキ。
-------	-------------------

目標・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実車を使用してフレーム修正作業が適切に実施できる。</li> <li>・各種溶接の作業と安全の確保ができる。防錆と下地塗装ができる。</li> </ul>
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

期	時間	授業内容
2 学 期	21	フレーム修正機（取り扱い、作業）
	7	スポットカット
	14	スポット溶接
	14	プラグ溶接
	14	ポートパワー
	7	防錆（脱脂、錆止め）
	14	シーリング
	20	下塗り（サフェーサ）
	1	教程末試験

### 成績評価

(1)

100点	80%	教程末・学期末などの試験
	20%	レポート・出席状況・学習状況等に基づいて評価

(2)

評価	5	4	3	2	1
点数	100～90	89～75	74～65	64～50	49～0

(3)

- ・原則として90%以上出席する。
- ・5段階評価で「2」以上はこの単位を認定し、「1」は不認定とする。